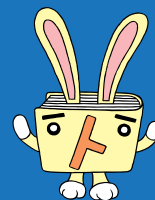


大楠



図書館キャラクター「ひとと」

50

2012 April
[平成24年4月]Kumamoto Gakuen University
Library Bulletin

O a k s

特集

学生 みなさんが 本の魅力 伝えました。

「Library Lovers' 2011実施報告」

Contents

- ① 館長エッセイ
- ② 特集「Library Lovers' 2011実施報告」
- ⑤ News News／平成23年度利用統計
- ⑦ Information／
「シネマ@Library」のお知らせ
- ⑨ スタッフレポート
「シラバスコーナーの充実で、
学生の“学習意欲”を刺激する」
- ⑩ 館報50号を振り返って



新入生諸君、 1年に50冊 読んでみませんか。



堀 正広
Hori Masahiro

2012年1月より図書館長
外国語学部教授
博士(文学)、英語コーパス学会会長。
著書『Investigating Dickens' Style: A
Collocational Analysis. (Palgrave
Macmillan, U.K. 2004, 英語コーパ
ス学会賞)、『英語コロケーション研究
入門』(研究社、2009年)、『例題で学
ぶ英語コロケーション』(研究社、2011
年)、Kaneko Tohta, *Selected Haiku 1937-
1960, with Notes and Commentary* (共
訳) (Red Moon, USA, 2012)など。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。熊本学園大学の図書館長として、みなさんに多読、乱読、雑読をおすすめいたします。

私が学生時代に授業で受けた棚町式読書法をまず紹介します。高専や大学の教授を歴任され、最後は国文学研究資料館を退職された棚町知弥先生の読書法です。最初の授業で、2年間で読むべき本のリストが配布されます。太字で書かれている書名は必ず読まないと成績は不可となります。太字ではない、標準的な文字で書かれている本を読み終えた場合、成績は良です。それ以外の本を読むと優の成績がもらえます。提出するのは、読書ノートです。印象に残った箇所を抜き書きするだけで、感想を書く必要はありません。定期試験は、全て読書感想文で、試験後は添削された答案用紙を前に、学生全員と個別面談があります。

太字の本は、『キュリー夫人伝』から始まり、島崎藤村の『破戒』、内村鑑三の『余は如何にして基督信徒となりし乎』、夏目漱石の前期3部作『三四郎』、『それから』、『門』、武者小路実篤の『友情』などでした。2年目の最後の本は、島崎藤村の『夜明け前』でした。標準的な文字の本には、ヨーロッパの文学作品が多く見られました。シェイクスピアの『ハムレット』、ゲーテの『若きヴェルテルの悩み』、デュガールの『チボー家の人々』、ドストエフスキーの『罪と罰』などがありました。4月、5月は、先生のやり方に対して、不平不満だらけだった多くの学生が、夏休み前くらいには本を読む楽しさを感じるようになりました。1年を経過すると友達同士競って本を読むようになりました。

読書の習慣は自然と身につく人と私のように強制的でないと身につかない人といいます。みなさんはどちらのタイプですか。いずれのタイプでも、読書の習慣の有無は、みなさんの人生を間違いなく左右します。

1週間に1冊読めば1年で50冊読めます。1週間に2冊読めば、1年で100冊読めます。大学の1年生の時は、読書に身をささげてみませんか。友人と競争して本を読んでみませんか。

そのためには、まず図書館の中を歩いてみましょう。書棚の本のタイトルを見てみましょう。おもしろそうな本、難しそうな本、読みたくなる本、絶対読みそうにない本、いろんな本を自分で手にとってみてください。そして、本を開いてみましょう。目次を見て、あとがきを読んでみてください。あなたがまだ出会っていない未知の素晴らしい世界がそこにはきっとあるはずです。



Kumamoto Gakuen University
Library Bulletin
O a k s

Oaksとは…

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では、「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹回り4～5mに達する県木でもある緑豊かな楠の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks(Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System)と命名しました。



学生の みなさんが 本の魅力を 伝えました。

「Library Lovers' 2011 実施報告」

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

学びの拠点となる図書館を、これから大いに活用してください。

今回は、図書館が昨秋行ったイベント

「Library Lovers' 2011」についてご紹介いたします。

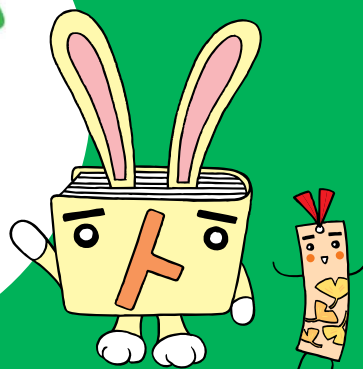
本好き・図書館好きだという学生のみなさんがイベントを盛り上げました。



- 2011年10月12日～11月15日
- 熊本学園大学図書館にて開催

Library Lovers'とは

九州地区大学図書館が合同で開催する
秋の読書週間キャンペーン。
2011年のテーマは「図書館が森になる!?
育てよう読書の本」でした。



1

読書の木

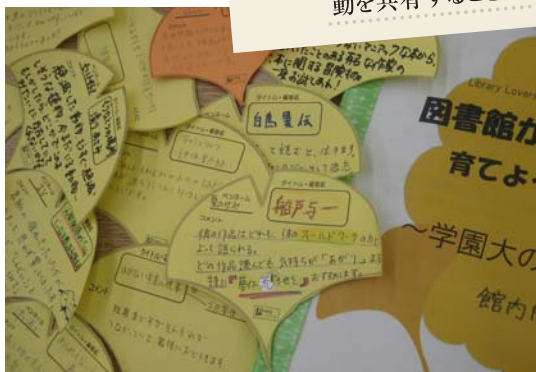
九州地区の大学図書館との
合同企画

学 生 コ メ ン ト

商学部経営学科3年 工藤 飛鳥



自分が好きな本について、他の人が読みたいと思うようなメッセージを書くのは大変でした。自分の書いたメッセージは読書の木だけでなく、web上の「Library Lovers'の本棚」でも掲載されました。多くの人と感動を共有することができる企画でした。

「読書の木」が
一冊の本になりました。現在
展示中

葉っぱの形をした紙に本についてコメントを書きます。それを写真のような大きな木の枝に貼り付けていきます。そうして木の葉を一日一日と増やしていき、大きな木に育てようという企画です。学生の皆さんから213枚ものコメント付き葉っぱが集まりました。学園大のシンボルである銀杏の木と同様に、読書の秋を彩ってくれました。

読書コメント数は
参加館28館中、
本学がダントツの1位!

1位	熊本学園大学	216
2位	中村学園大学	165
3位	鹿児島大学	153
4位	長崎大学	141
5位	志学館大学	108

詳細は以下のサイトに掲載されています。

LibraryLovers'キャンペーンHP

librarylovers2011

検索

●読書コメント数の詳細

上部の「合同企画 読書の木」より「最終結果」を選択

●学生の皆さんの読書コメント

右側の「ブログ本棚」→右側の「カテゴリ」より「熊本学園大学」を選択

3

図書館 de
ラブレター

本学オリジナル企画

学 生 コ メ ン ト

平成24年3月卒業 商学部経営学科 山本 有記



特に印象に残ったのは、天国にいる恋人に宛てた手紙でした。私もこの数年で大切な人々を亡くし苦しかったです。しかしこの手紙を読み、いつかまた出会える日があれば、と思いました。また「手紙」に繋がるような本を読むことで気持ちの整理や新たな本との出会いもありました。

現在
展示中「図書館 de
ラブレター」が
一冊の本に
なりました。

自分の思いを伝えるラブレターはときに一方通行になりがちですが、この企画では、投函されたラブレターに必ず返事が返ってきます。この展示はそのラブレターを読んだ教職員スタッフが返事を書き、その人にぴったりの本を探し出し紹介するのです。

1通のラブレターに対して、教職員スタッフ2名からの返信と本の紹介。全部で30通のラブレターが図書館ポストに投函され、60通の返信が寄せられました。

2

映画と
音楽の木

本学オリジナル企画

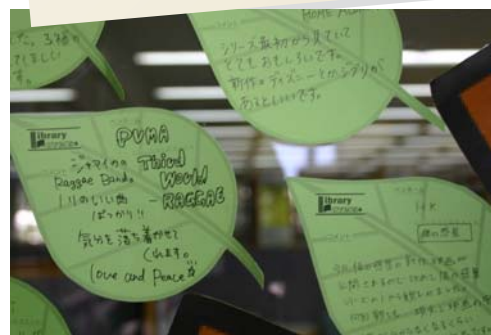


学 生 コ メ ン ト

商学部第一部商学科 2年 田中 晃子



冊子になった「映画と音楽の木」を参考に、観るDVDを決めている利用者を見つけました。このような形で映画好きの輪が広がっていくのをうれしく思いました。



「読書の木」の姉妹企画。葉っぱに書くコメントを「映画」と「音楽」に限定しました。木を図書館2階のAVコーナーに設置していたこともあり、100以上のコメントが集まりこちらも大きな木に育てていただきました。次何観ようかな、と迷ったときにこれらのコメントが案内してくれました。

「映画と音楽の木」が
一冊の本になりました。現在
展示中

4

あの手紙、
この手紙

本学オリジナル企画

こちらは、手紙に関する資料の展示を行いました。手紙にまつわる物語は、絵本、童話、小説、映画にいたるまで多岐にわたります。手紙の書き方、手紙集、また色々な国の切手を並べて展示しました。



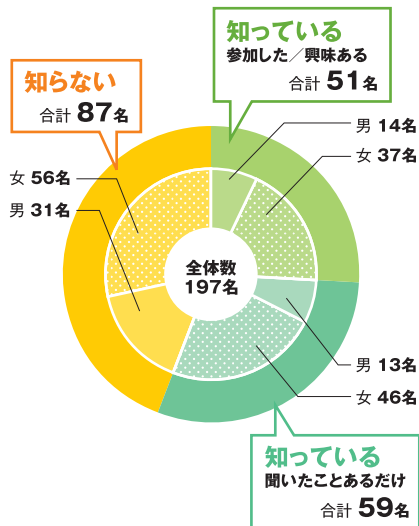
Library Lovers' 参加者の声

回答数：213
実施期間：平成23年12月3日～12月22日(20日間)
実施場所：図書館内
対象者：図書館利用者

Library Lovers' 2011 利用者アンケート集計結果

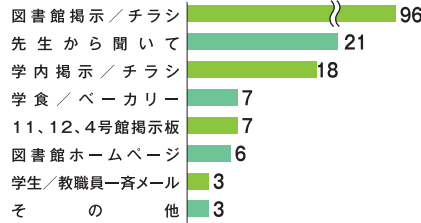
1 Library Lovers'を知っていますか？

◎学生197名の回答

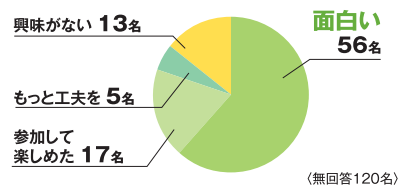


2 どこで知りましたか？(複数回答可)

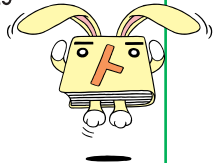
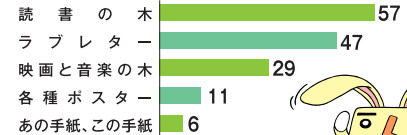
◎設問1で「知っている」と回答した学生110名の回答



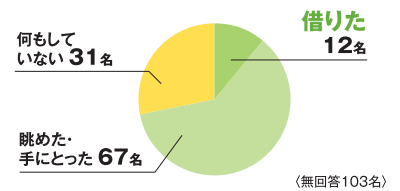
3 率直な感想を教えてください。



4 企画で特に気に入ったものは？(複数回答可)



5 紹介された展示物を眺めたり、本を手にとって読んだり、借りたりしましたか？



Library Lovers' について

- みんなが葉っぱに書いた本の感想が面白かった。
- あまり知らなかったのもっと学生に広まるようアピールすべき。
- 外部との連携企画をしてみてもいい。
- 「図書館 de ラブレター」は1人ひとりの体験が書かれていて、それに対して本を紹介していたのが、とてもよかった。
- 「読書の木」が奥まった所に置いてあったので、読みにくかったです。移動してもらえると意見を述べましたが配置は変わらなかったの、いつまでたっても、ソファにひざを立てて読んでいました。
- 提出箱を一箇所だけでなく数箇所に作って欲しい。
- Library Lovers' に景品が付くといいなと思った。本を借りた冊数に応じてボールペン進呈とか。

図書館でやってほしいことは？

- 貸出ランキングやいろんなテーマでのトップ10の紹介。
- 話題の本や賞を取った本などをもっとアピールして欲しいと思う。
- 日本で人気のある本をランキングで紹介して、実際にその本を借りられるようにしてほしい。
- 秋だけでなく、他の時期にもこのような企画をやって欲しい。
- 学生が自分たちで選んだ本などを紹介できるコーナーを作って欲しい。
- 最近話題の映画の特集をAVコーナーでやって欲しい。
- 図書館の設備や開館時間の長さ、貸出制度等に関する学生の意見をもっと吸い上げる工夫をしてください。

学生コメント

平成24年3月卒業
経済学部国際経済学科 藤原 夏紀



積極性が楽しむコツ

学生参加型のこの企画。図書館大好き! の私も、昨年に引き続き参加させて頂きました。昨年度は熊本や図書館の魅力に迫ったものでしたが、今回は「読書の木」や「ラブレター」といったユニークな企画が繰り広げられました。前者は利用者、後者は図書館職員の紹介(返事)により沢山の本を知ることが出来ました。

「Library Lovers'」は参加するからこそ何倍も楽しめる企画だと改めて感じました。

学生コメント

経済学部経済学科 4年 東 敬一郎



利用者に伝わる工夫を

今回のイベントを通して感じたのは、このイベントが学生の目にはあまり映ってなかったのではないかとことです。ポスターが目立ってなかったことも、見えていて思いました。期間中に展示されていた本や並びがほとんど変わらなかったことによる物足りなさもあります。展示の場所や方法のバリエーションを増やして、利用者に伝わる展示、見る側が飽きることのないような工夫を次回の「Library Lovers'」で行ってみたいと思います。

先生コメント

商学部講師 山田 美幸



「みんな一体どんな本読んでるのかなあ?」「どんな映画とか観ているのかな?」今回のイベントは、普段は見ず知らずの人に尋ねてみたい事を素敵な形に具体化できたものだと思います。

本を紹介する…図書館サービスでは結構難しい事です。読書感想文のスタイルにすると、硬い雰囲気になってしまいます。興味関心が湧きやすい図書の紹介に接することにより、利用者の皆さんには、図書(館)利用をより身近に感じて頂けたのではないのでしょうか?

1 データベース 講習会実施しました

〈ジャパンナレッジ〉

株式会社ネットアドバンスから講師を招いて、平成23年10月19日にジャパンナレッジのデータベース講習会を開催しました。普段使いの“Google”とは一味違う検索の仕方など、実習を交えながら細かく解説していただきました。ジャパンナレッジは言語・時事用語・最近の話題・企業情報などのあらゆる項目が一括検索できます。今後は定期的に講習会を実施し、レポートや論文作成の最適なレファレンスツールとしてジャパンナレッジの活用が広がることを期待しています。



〈日経NEEDS-Financial QUEST・日経テレコン21〉

日経メディアマーケティングシステムから講師を招いて平成24年1月11日に院生・教員対象の日経NEEDS-Financial QUEST、学生対象の日経テレコン21のデータベース講習会を開催しました。日経テレコン21では就職ガイダンス時の就職課からの呼びかけも後押し、春学期開催の人数を上回る14名が参加しました。企業情報の検索など、就職活動に役立つ内容の実習となりました。

お知らせ

図書館では、定期的にデータベースの利用講習会を開催しています。講習会の開催情報は図書館のHPや掲示でご確認ください。

2 平成23年度 学生懸賞論文 審査結果

平成23年度の学生懸賞論文には昨年(13篇)を若干上回る15篇の応募がありました。今回は例年よりも1ヵ月ほど締め切りを遅くしました。11月から12月にかけて一次審査、二次審査が厳正に行われ、その結果、特選に該当する論文はみられず、右記のとおり入選2篇、佳作7篇という審査結果となりました。

なお表彰式は平成24年1月18日15時から図書館AVホールで行われ、堀館長から講評が述べられたあと一人ひとりに懸賞金が授与されました。表彰式のあとに入選者のスピーチもありました。また参加者全員での写真撮影も行われました。その後は式に参加した同じゼミの友人たちと一緒に写真に納まる光景も見られ、和やかな雰囲気の中で終了することができました。

今回の入選論文2篇は「平成23年度学生懸賞論文集」として発行され、図書館内で配布されています。



堀館長を囲んでの受賞者の皆さん

特選 該当者なし

入選

(2篇)

- 富崎真夕 (英米学科4年)
“Rappaccini's Daughter”におけるDr.Rappacciniの孤独と喪失
- 齊藤千華子 (英米学科3年)
“The Birth-mark”における「魔女狩り」の暗示について

佳作

(7篇)

- 後藤有沙 他5名 (国際経済学科4年) TPPに対する学生の意識調査及び分析
- 釜えりか (リーガルエコノミクス学科4年) 人間とペットの共生～殺処分問題を通して～
- 藤原夏紀 (国際経済学科4年) 日本語ボランティアの実態～体験とインタビューからの考察～
- 矢野未紗 (リーガルエコノミクス学科4年) 地域統合と金融サービス
- 本永さくら (リーガルエコノミクス学科4年) 人の移動と地域統合
- 西村康代 (リーガルエコノミクス学科4年) 福島第一原子力発電所事故における世代間倫理の必要性
- 浦辺崇全 (経営学科4年) 社外取締役と日本企業～社外取締役は必要か～

入館者数・
貸出冊数統計

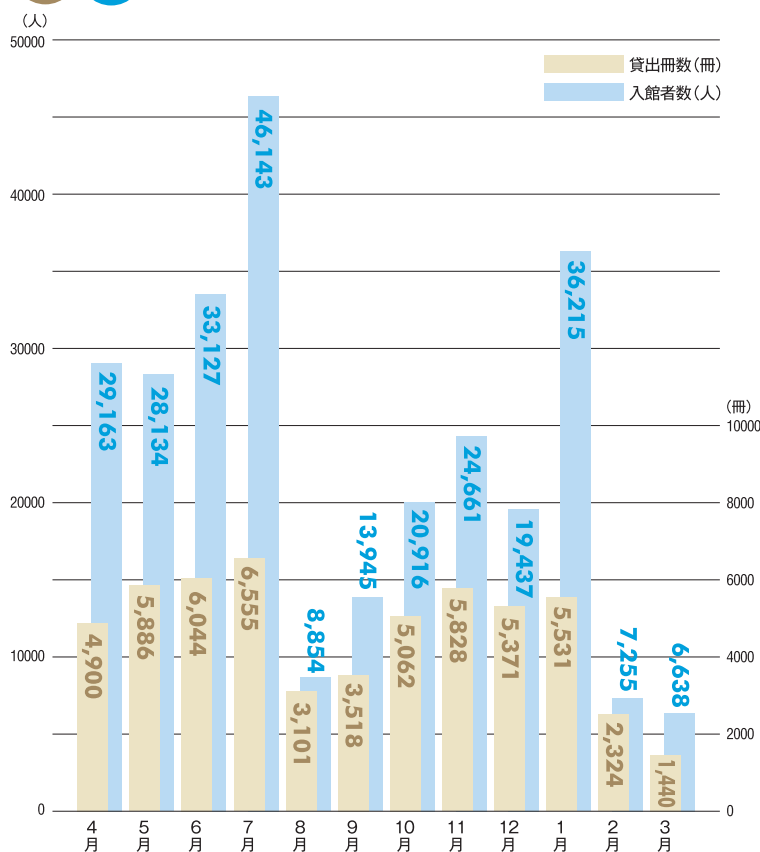
平成23年度 利用統計

平成23年度の入館者数・貸出冊数の統計をご報告します。

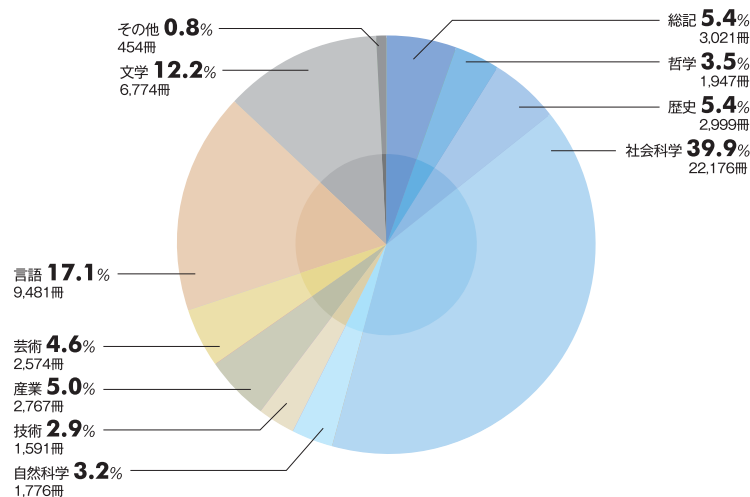
平成22年度少し持ち直した入館者数・貸出数が、平成23年度はどちらも再び減少となりました。利用数減の理由として学生数の減少なども考えられますし、データベースや電子ジャーナル・機関リポジトリといったインターネット上の情報源が増加している昨今、「図書館を利用し、本をたくさん読む学生が減っている」＝「熱心に学習・研究する学生が減っている」と、単純には判断できません。しかし、「図書館を日常的に利用する学生」が少なくなっていることは、残念ながら事実です。

とはいえ、学部ごとの貸出冊数で商学部・経済学部の一人数あたりの貸出冊数が増加しているように、利用が伸びた部分もあります。学生・教職員が利用しやすい図書館づくりを考え、実践していきます。

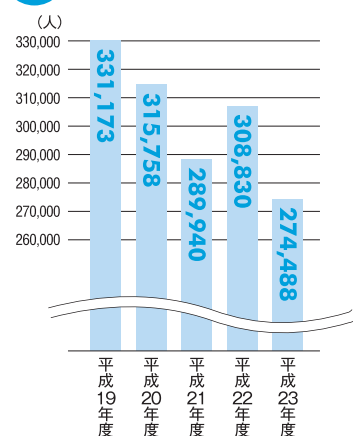
月別入館者数／貸出冊数



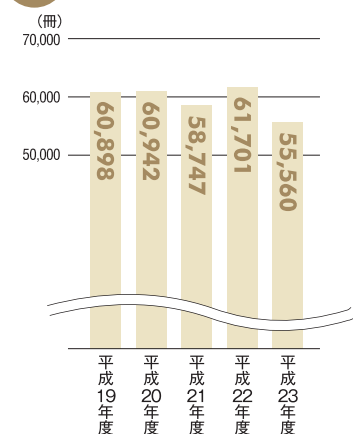
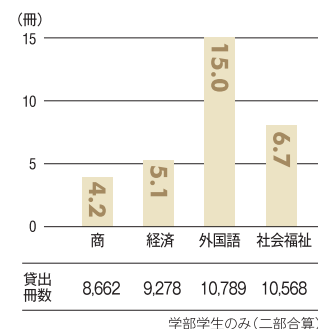
分野別貸出比率



入館者数(過去5年間比較)



貸出冊数(過去5年間比較)

学部別一人あたりの
貸出冊数

(平成24年3月31日現在)

平成22年度少し持ち直した入館者数が、再び減少となりました。

[図書館からのお知らせ]

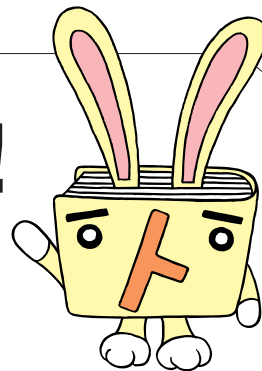


本学学生

平成24年度 学生懸賞論文募集!

テーマ／自由論題

奮ってご応募ください!



期限
厳守

応募期限
平成24年 **10月31日(水)** 17:00

受付期間:平成24年10月22日(月)～10月31日(水)

※但し、10月27日(土)、28日(日)は除く

応募資格 ● 本学学生(大学院生、研究生、科目等履修生を除く)

提出先 ● 図書館4階 事務室

審査方法 ● 図書館委員会と図書館委員会の委嘱による
専門教員の審査に基づき決定する。

懸賞金 ● 特選＝賞状 および 賞金10万円

入選＝賞状 および 賞金5万円

佳作＝賞金2万円

奨励賞＝図書カード5千円

※ 上記に該当しない場合は参加賞として 記念品を贈呈する。

入賞発表 ● 平成25年1月中旬(予定)

(1) 館内掲示板ならびに図書館ホームページ等
にて「論題・所属・氏名」を発表する。

(2) 入賞者(特選・入選)の論文は、
「学生懸賞論文集」として発行する。

表彰式 ● 平成25年1月中旬(予定)

表彰式及び入賞者(特選・入選)の報告会を開催する。

■応募上の注意

①応募は、一人1篇(共同執筆も可)とし、未発表の論文とする。

②応募論文は返却しない。

③別紙の「平成24年度学生懸賞論文応募票」を添付して提出すること。

④インターネットからの「コピー&ペースト」または参考文献からの引き写しは論文とは認めない。

■執筆要領

①論文には表紙をつけ、論題のみを記入すること。

②パソコンまたはワープロ(A4用紙)で作成し提出すること。

和文: 1行40字×40行、8,000字～16,000字以内。

英文: 横書き・ダブルスペースで1行70字×28行、上記字数に該当する程度。

中国文、韓国文の場合は、1行40字×40行、上記字数に該当する程度。

③和文以外の場合は和文で作成した内容の要約(400字～800字程度)を別紙にて提出すること。ただし、この要約は枚数に含まない。

④文献等からの参照箇所や引用には必ず注番号を付け、出所を明記する。

●単行本や雑誌等の文献から引用した場合、出典(著者名・タイトル・発行所名・発行年月・ページ等)を明記すること。

●ホームページ上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記すること。

⑤注)のつけ方については、別刷りの手引きを配布する。必ず参照すること。

⑥図表等は枚数に含まない。それらを引用した場合、出所を明記すること。

不明な点は、図書館4階 事務室 までお問い合わせください。



本学学生

2 図書館ガイダンスの案内

図書館では新入生を対象とした「図書館ガイダンス」、主に2年次以上を対象とした「ステップアップガイダンス」を今年度も実施します。

図書館活用法をマスターして、充実した大学生活を送りましょう。

●図書館ガイダンス(新入生対象)

実施時期 4月中旬～5月末まで

内 容 利用案内プレゼンテーション、
地下書庫見学、各自で館内散策

●ステップアップガイダンス

実施時期 5月下旬～

内 容 雑誌記事・論文の探し方、新聞記事の探し方など
データベースを使った資料収集
バスファインダーの紹介

ガイダンスに関するお問い合わせは 図書館2階レファレンスカウンター まで



卒業生・保護者・一般利用の方

3 図書館カード発行のお知らせ

図書館カードの発行を希望される方は、以下の要領で発行手続きをお取りください。

	卒業生・保護者	一般
カードの種類	図書館カード	一般利用カード ※貸出専用カード
手続き期間	2012年4月2日～ 2013年2月28日	2012年 4月2日～5月31日 10月1日～31日
手数料	なし	1,000円
受付時間	月曜日～土曜日 9:00～21:00	
必要書類	運転免許証・健康保険証など	

※すでに卒業生カードをお持ちの方は、カードの更新が必要です。

手続き期間中に、卒業生カードと上記必要書類をお持ちください。

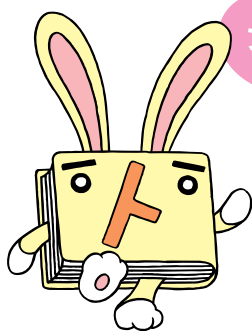
※一般利用カードは、貸出専用のカードです。入館ゲートを通過することはできません。入館の際には毎回、申込書の記入が必要となります。



本学学生

4 グループ学習室を どんどん 利用しよう!

グループ学習室では、ノートパソコン・プロジェクター・書画カメラが利用できます。利用の仕方はレファレンスカウンターまでお問い合わせください。



ゼミ発表や
プレゼンの準備に
役立つよ!



本学学生

5 気軽に雑誌コーナー リクエスト投票実施中!



あなたの一票で、秋学期からの
ラインナップが変わります!

1階フロアの「気軽に雑誌コーナー」では、学生のみなさんによるリクエスト投票を実施しております。読みたい雑誌のタイトルに丸をつけて、投票箱に投函してください。詳しくはメインカウンターまでどうぞ。投票結果は6月に館内の掲示板にてお知らせします。

- 期間: 4月~5月末
- 場所: 図書館1階
「気軽に雑誌コーナー」
- 対象: 学部生・院生
- 要領: 投票は一人につき1回まで。

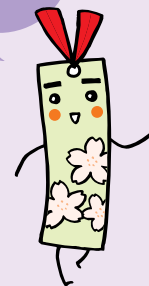
シネマ
@
Library



LIBRARY
CINEMA

シネマ@Library

どなたでも自由に
鑑賞できます。
一緒に映画を
楽しみましょう!



今年も上映会を開催します。授業の空き時間にいかがですか?

図書館では定期的に映画の上映会を行っています。今年もスタッフいち押しの作品を集めました。上映作品に関連する資料のミニ展示も行います。お楽しみに!

春のラインナップはこちら。お楽しみに!



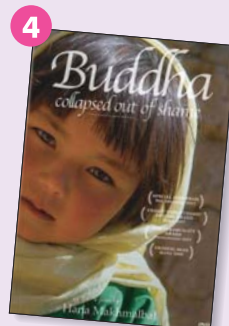
5/9 (水)
14:40~(114分)
ソフトボーイ
(2010年 日本映画)



5/24 (木)
14:40~(97分)
おぎゃあ
(2002年 日本映画)



6/13 (水)
14:40~(109分)
ボトル・ドリーム
(2008年 アメリカ映画)



6/26 (火)
14:40~(77分)
子供の情景
(2007年 イラン/フランス映画)



7/11 (水)
14:40~(96分)
スノークラッシュ
(2008年 アメリカ映画)



シラバスコーナーの充実で、 学生の“学習意欲”を刺激する

4月から「シラバスコーナー」を新設した。数年前から「特設コーナー」でシラバスに掲載されている参考文献は揃えていた。

今回“学習支援”の一環として、従来からあったコーナーを拡大し、新たに「シラバスコーナー」として、スペースを広げ学部ごとに分類し、“魅せる”コーナーとしてリニューアルした。

1 なぜ「シラバスコーナー」なのか？

シラバスとは、「講義の目的・内容・使用テキスト・参考文献・評価方法などについて記した計画書」⁽¹⁾である。学生は新年度になると、まずはシラバスを熟読し、自分が履修する授業を決め、登録する。シラバスは学生にとって自分の「学問(学習)の道しるべ」となる。シラバスに掲載されている参考文献は、授業内容をより深く知るための重要な資料である。現在、シラバス掲載の参考文献を自ら図書館で探し、読んでいる学生はどれくらいいるのであろうか。今回新設した「シラバスコーナー」は、図書館入口ゲートを入ってすぐ左側の目に付く場所に設けた。ここで自分が読むべき文献はどういうものかを一覧でき、すぐに手に取ることができるようなコーナーにした。

「シラバスコーナー」は、指定図書制度をより使いやすくしたものであると考えている。貸出期間も通常の一般図書と同じ2週間である。

2 指定図書制度とどうちがうか？

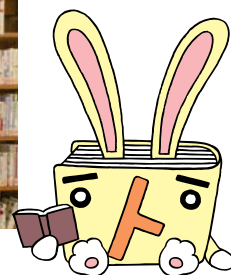
「指定図書制度」とは、「大学図書館において、教員の作成する指定図書リストにより収集し、別置されている資料群を管理する制度」⁽²⁾である。

アメリカの大学図書館で発達した制度で、日本でも1966年(昭和41年)から、文部省が国立大学図書館にこのための予算措置を講じたが、定着せずに終わっている。指定図書の場合、全員に必読を課すため、貸出不可または貸出期間が短かったりで、学生にとっては利用しにくいものであったかもしれない。

3 “魅せる”コーナー作り

読書離れ、活字離れが言われるようになって久しいが、本学図書館の貸出冊数も減少傾向が続いている。その中で図書館としてすべきことは、利用者を「本へと誘う」ことである。こういう本があるよとアピールすることである。

図書館ではここ数年、展示に力を入れている。月毎に変わるテーマ展示やその時の話題に応じた企画により、図書や資料を展示してきた。ただ単に本を並べるだけではなく、手書きのPOPを作成したり、“色”を活用して、利用者の目を引きつけるよう工夫をしている。図書館職員は、関連の勉強会や研修会に参加したり、参考文献で独学することもある。本を手にとってもらうには、まず視覚に訴えることが大事だと思っている。



4 学力向上につながる提案を！

全国の大学図書館をみても、名称は多少違うが「シラバスコーナー」を設けているところは多いようである。なかには図書館のホームページにシラバス参考文献のリストを掲載し、タイトルをクリックすると蔵書検索(OPAC)の所蔵情報にリンクしているところもある(例:お茶の水女子大学附属図書館)。

今回新設した「シラバスコーナー」も、これで完成ではない。さらなる充実を目指している。そのためには教員、授業との連携は不可欠である。

「大学生の学力低下問題とその解決策」⁽³⁾という論文では、「大学生の学力低下問題は、入学時の学力低下問題と、卒業時の学力低下問題に分けられる」とある。また「外圧がないと勉強意欲を維持できない学生が大量に入学してくる、勉強意欲を維持させるためには、適度の外圧も必要である」ともある。入学してから卒業するまで、個々の学生の学習サポートを継続して行う必要がある。

大学の重要な学習支援施設である図書館として何ができるのか。学生の学習意欲を刺激し、学力向上につながる新たな提案を、図書館として模索しながら、今後も積極的に行っていきたい。

(教職・実習課 法川 ゆかり〈前図書情報課〉)

【参考文献】(1)『広辞苑 第6版』岩波書店 2008年

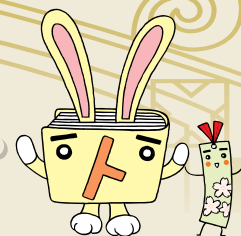
(2)『図書館情報学用語辞典 第3版』丸善 2007年

(3)宇井徹雄「大学生の学力低下問題とその解決策」『オペレーションズ・リサーチ』242(10)、2009年5月、p.243-248

大楠
第50号
記念

熊本学園大学図書館報『大楠』が、第50号を迎えました!

館報 50号を振り返って



熊本学園大学図書館報『大楠』は50号を発行する運びとなりました。1987年(昭和62年)の創刊以来、年2回の発行を重ね四半世紀を経たこととなります。「館報」を発行することで転換期にある図書館を学内外にアピールしよう、活性化を目指そうという当時の西園寺明治館長の決断でした。現在のNIIの前身である学術情報センターがサービスを開始した頃で、電算化の波が押し寄せていました。

創刊の時の編集・発行要領の「目的」によりますと、図書館の広報誌として学内および学外に配布するとあります。学生向け、教員向け、記録誌のどれなのかという議論はつねにあります、それぞれの役割を兼ねた一種類しか発行できないというスタンスでのぞんできました。

いま各号を見返すと表紙を飾った版画、絵、写真、題字をいただいた方々、

担当したスタッフ、特にデザインや構成に長けた人材がつねにいたことを嬉しく思います。特筆すべきは創刊号から15号までの表紙絵は世界的版画家の浜田知明先生だったことです。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

(図書情報課長 津村 秀夫)

【書誌的事項】

図書館報 / 熊本商科大学・熊本短期大学図書館 編。

1号(1987年10月)―9号(1991年10月)以降『大楠』にタイトル変更

大楠 : 熊本学園大学図書館報 / 熊本学園大学付属図書館 編。

10号(1992年4月)―

10号から13号までのタイトル関連情報: 熊本商科大学・熊本短期大学図書館報

10号から13号までの編者、出版者: 熊本商科大学・熊本短期大学図書館

大きさの変更: B5判(創刊号~33号) → AB判(34号~41号) → A4判(42号~)

エポックメイキングな号をご紹介します。

創刊号(1987年)



文字通り初号です。北賀勝幸学長、西園寺図書館長の寄稿、角居京輔事務長には図書館の歩みを書いてもらいました。学生には建物は小さいが豊富な蔵書であること、図書館は世界と繋がっていることを強調しておきました。

3号(1988年)



図書館の電算化についての特集。1989年4月から本格稼働した図書館システム NEC/LICS-Uの詳細が広報されています。電算化に携わられた当時の館員の苦勞をねぎらいたい気持ちで一杯です。図書館に黒船到来の感があると記されていますが、現在進行中の学術機関リポジトリも同じ状況かもしれません。

16号(1995年)



新館案内の特集。表紙絵は美術準備室の曾田豊子さんに描いていただきました。いま、玄関前の木々は大きく成長し繁茂しています。新館になってから新入生図書館ガイダンスは全員を対象に実施できるようになりました。この号に登場した「謎の学生」も今ではキャリア充分の図書館スタッフに成長しました。

47号(2010年)



Library Lovers'奮闘記の特集。九州地区大学図書館合同キャンペーンで大学の独自企画として資料テーマ展示、ショーケース展示、Lovers'シネマ、フォトコンテストと多彩な企画で盛りあげられました。館員、学生が一体となった、かつてなかった新しいスタイルの企画で、これからの図書館活動の行方を占うものだと思います。

展示のお知らせ

熊本学園大学図書館報の創刊号から現在までを展示します。

●期間:4月~7月 ●場所:1階フロア



LIBRARY
DIARY

図書館日誌

2011年9月～2012年3月まで

図書館行事

- 9月6日～8日・帯山中学校ナイスライ
- 9月14日・休館（一般職員研修会）
- 9月19日・休館（敬老の日）
- 9月23日・休館（秋分の日）
- 9月30日・図書館ホームページリニューアル
- 10月6日・図書館委員会
- 10月10日・休館（体育の日）
- 10月12日～11月11日・Library Lovers'2011開催
- 10月22日～27日、11月1日・図書館実習
- 10月31日・学生懸賞論文受付締切
- 11月23日・休館（勤労感謝の日）
- 11月24日・図書館委員会
- 11月27日・休館（入学試験）
- 12月15日・図書館委員会（拡大）
- 12月23日・休館（天皇誕生日）
- 12月25日～1月4日・休館（年末年始休業）
- 1月9日・休館（成人の日）
- 1月14日・15日・休館（大学入試センター試験）
- 1月18日・学生懸賞論文表彰式
- 1月25日・図書館委員会
- 2月7日～10日・休館（一般入試）
- 2月11日・休館（建国記念の日）
- 3月8日・休館（一般入試）
- 3月20日・休館（春分の日）
- 3月26日・図書館委員会
- 3月31日・休館（年度末処理）

見学者・団体

- 9月7日・杵築高等学校（30名）
- 9月8日・多良木高等学校（90名）
- 9月22日・神埼高等学校（44名）
- 10月12日・五霊中学校（22名）
- 10月14日・熊本商業高等学校（22名）
- 10月21日・鹿児島南高等学校（45名）
- 11月4日・臼杵高等学校（12名）
- 11月7日・大分県立南高等学校（40名）
- 12月9日・熊本国府高等学校（96名）
- 12月12日・菊池高等学校（77名）
 - ・熊本信愛女学院高等学校（60名）
- 12月16日・苓明高等学校（60名）

編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

1987年（昭和62年）に誕生した図書館報も第50号を迎えることができました。25年という年月が経ち楠の苗木が大楠へと成長を続けるように、我々図書館員も成長できているでしょうか？

利用者と図書館をつなぐ役目として、これからも一歩ずつ前進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。（K・T）

熊本学園大学 図書館報

大楠 第50号
2012年4月30日

編集・発行／熊本学園大学附属図書館
〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号
TEL (096) 371-8047 (直通) FAX (096) 362-5967
<http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

携帯電話から本学図書館の
蔵書検索ができます。



機種によっては、
正しく表示されない場合が
ありますのでご了承ください。